学校番号	1207

令和　５　年度　　指導と評価の年間計画

教科	科目（講座名）	単位数	指導学年	履修の条件
国　語	現代文Ａ	３	３	なし

使用教科書	副読本等
高等学校「新編現代文A 改訂版」（第一学習社）	字義で覚える常用漢字、国語常識の演習と整理 プライム常用国語

準備物・費用等	必修／選択	全員履修	セット	自由選択	授業形態	講義	実技	実習
教科書・ノート。その他は必要があればそのつど連絡。		○				○		

１．担当者からのメッセージ（学習方法等）

・３年の現代文は作品をより深く読むことができるようにしていくこと、社会へ飛び立つ準備をすることの２点を目標としています。
・就職試験や入試においてもその能力は不可欠です。
・必ずわからないことばが出てきた場合は調べておくようにしましょう。
・また、ノートに授業内容をしっかりとまとめる練習もしていきましょう。
・社会に出れば、メモを取ることが増えるからです。
・仕事内容によっては、ノートを何度も確認しなければならなくなることもあるでしょう。
・そのとき慌てずにするためには、黒板の板書内容をノートに正確に写しておくことが大事です。
・提出物もしっかりと出してください。
・必ずみなさんの糧となり、役に立つときが来るでしょう。
・今年１年で語彙力を上げ、また、社会に出る準備を万全にしましょう。

２．学習の到達目標

・語彙力や漢字力を高めることによって日常的に見聞する文章を正しく理解できる。
・生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を調べる。
・文学的文章を通じて、他者の心情を理解し共感する態度を身につけている。
・論理的文章を通じて、問題点に気づき筋道だって考える思考力を身につけている。
・他者の話を聞き、相手との対話の中でお互いが理解を深めていく姿勢を身につけている。
・伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。

３．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	ａ：関心・意欲・態度	ｂ：話す・聞く能力	ｃ：書く能力	ｄ：読む能力	ｅ：知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検 （プリント・ノート等）			・記述の確認および分析 （プリント・ノート等） ・定期考査	・授業ノート ・授業プリント ・行動の観察 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

月	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
4月 ～ 5月 中旬	・『出島のチューリップ』 ・『なぜ“コロンブスの卵”を描くのか』	・随想の読み方を習得する。 ・筆者にとって浅田さんがどのような存在であり、現在どのような心境で当時を回想しているかを読み取る。	○			○	○	a:少年時代の「私」と今の「私」の、浅田さんへの想いをそれぞれ理解している。 d:全文を正しく音読できる。 e:長崎の歴史などの予備知識を得ようとしている	・授業態度 ・提出 ・定期考査
		・アイデアの発想と展開のために、固定観念にとらわれることなく、常に命題の原点に戻って考える癖をつける契機とする。	○			○		a:卵を描きなさいという命題に、どのような卵を描くのかイメージできる。 d:全文を正しく音読できる。	
5月 下旬 ～ 7月	・『ナイン』	・登場人物の言動から、性格・心理を読み取り、人と人との関係について考える契機とする。 ・現代小説の面白さを味わい、小説の基本的な読み方を習得する。	○			○		a:作品の主題を理解し、人や人生に対する見方を深める。 d:登場人物の言動から心理の動きを読み取っている。 d:全文を正しく音読できる。	・授業態度 ・提出 ・定期考査
8月 下旬 ～ 10月 上旬	・『鼻』	・近代の代表的な短編小説を読んで、読解力を味わう。 ・小説世界を自己のものの見方や考え方にひきつけて考える。	○			○	○	a:長い鼻に翻弄される内供の姿から自己の問題を見出そうとしている。 d:全文を正しく音読できる。 e:近代の文化などの予備知識を得ようとしている	・授業態度 ・提出物 ・定期考査
10月 中旬 ～ 12月	・『卒業』	・まとまった分量のある小説を読解する。 ・「仕事」や「友情」、「責任」について考える契機とする。	○			○	○	a:作品の主題を理解し、自己の生き方について考えられる。 d:場面ごとの登場人物の心情を的確に読み取っている。 e:漢字の知識を増やす。	・授業態度 ・提出 ・定期考査
1月 ～ 2月	・『生命は』 ・『相棒』	・他者と、生命のあり方について考える姿勢を養う。	○			○	○	a:生命のあり方について自分なりに考える d:花の仕組みを確かめ、詩に描かれた情景を把握している。 e:漢字の知識を増やす。	・授業態度 ・提出 ・定期考査
		・登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 ・現代小説の面白さを味わい、小説の基本的な読み方を習得する。	○			○		a:作品の主題を理解して自己の生き方にひきつける。 d:時間の経過とともに登場人物の心理･行動がどのように変化したかを的確に理解する。	